

福岡市及び北九州市の取組から学ぶ ～国際交流都市の魅力で投資を呼び込め～

日本の企業誘致、投資促進の手法を学ぶため、世界各国より来日中の途上国研修員が福岡市及び北九州市を訪問し、国際交流都市として発展し続ける両市の取組を学びます。

外国直接投資（FDI）は、自国が有しない資金、技術、サプライチェーンの取り込みを可能にすることから、その誘致は途上国の経済開発において重要な政策課題となっています。一方で、多くの途上国がFDI促進を重要政策に掲げる中、自国の差別化に取り組む各国の政府・関係機関の投資促進担当者を対象に、JICA東京では2018年6月20日から7月14日まで、「投資促進のための経済特区開発・工業団地開発研修（A）」を実施しています。



今回訪問する博多港は「マルチ・クロス・ポート」として国際物流のハブであり、また、福岡県・北九州市・福岡市は「グリーンアジア国際戦略総合特区」に指定され、アジアを巻き込んで関連産業強化の先進的な取り組みをしていることから、企業にとって魅力的な都市となっており、途上国からの研修員は企業誘致のヒントが多く得られることを期待しています。

今回訪問する博多港は「マルチ・クロス・ポート」として国際物流のハブであり、また、福岡県・北九州市・福岡市は「グリーンアジア国際戦略総合特区」に指定され、アジアを巻き込んで関連産業強化の先進的な取り組みをしていることから、企業にとって魅力的な都市となっており、途上国からの研修員は企業誘致のヒントが多く得られることを期待しています。

下記の日程にて福岡市及び北九州市を視察しますので、ぜひ取材をご検討ください。また、取材をご検討いただける場合、下記問い合わせ先までご連絡ください。

7月2日(月)	
13:30-14:20	博多港 香椎パークポートコンテナターミナル 視察・講義 ※動画撮影禁止
14:45-15:30	博多港 クルーズセンター視察・講義 ※センター内では取材不可
7月3日(火)	
9:30-11:30	北九州イノベーションギャラリー 視察・講義
13:00-15:00	北九州市エコタウンセンター 視察・講義
16:00-17:00	TOTOミュージアム 視察・講義

《参加研修員国》

エチオピア、キューバ、ケニア、コートジボワール、ザンビア、ジンバブエ、ナイジェリア、ナミビア、パレスチナ（2名）、ヨルダン、計11名

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆JICA 東京 産業開発・公共政策課 森田

【TEL】03-3485-7630 【E-mail】tictip@jica.go.jp